



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	平成30年5月10日(木) 開会； 18時30分・閉会； 19時15分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員) 氏 名	阿久津彰良、笠原利子、堀内 規、小林永治、島田 喬、小林雅世、馬渡夏美、鈴木武則、澤田千尋、鳥塚智子、加藤里美、川島治、溝上俊亮	
欠席者(委員) 氏 名	古田和也、嶋田由紀子、原 寛和、本木瑞穂、	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	摂食嚥下について 認知症について 今年度の予定・計画策定 その他	
会議資料	(資料名・概要等) 次第 5月期ふらっと会議にむけて 5月期ふらっと会議に向けて(別紙)	
その他必要 事項		
会 確 議 録 の 定	確定年月日	主宰者記名押印
	30年6月14日	阿久津 彰良  笠原 利子 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
川島会長	<p>[開会]</p> <p>皆さんお集まりいただき有難う御座います。</p> <p>VR 認知症研修体験が8月9日に決定。1回目が14時半、2回目が作業部会の後の18時半。作業部会の皆さんを優先し、申込みの手順はこれから考える。是非ご参加下さい。</p>
阿久津委員	<p>ふらっと会議を始めます。</p> <p>まず摂食嚥下について、その後今年度の予定計画、そして時間の許す限り認知症について進める。資料は5月期ふらっと会議に向けて書いてある。</p> <p>「もぐもぐ」という会を立ち上げた。会議の中で決めていくには時間がかかるので、叩き台を作ろうと摂食嚥下のチームを作った。医療職ばかりなので、介護系の方に入ってもらおうと助かる。</p> <p>次2番は、そのもぐもぐ会で作った原案を載せている。この方向で第1回は進めようと考えている。それについて意見をお願いしたい。主な項目というところがあるが、(6)の所、看護師のところを「？」としているが、ここについては看護師は全般という事で考える。</p>
馬渡委員	<p>6番の所「？」になっていてメールでも伝えたが、1～5迄は摂食の部分のパーツで確認していくと思うが、6番は困った時、緊急のトラブル対応、先生の意見を貰いながら Q&amp;A ではないがそういう時間に話ができたら良いと思うが。</p>
阿久津委員	<p>問題点对応と入れておく。</p> <p>摂食嚥下研修会の日付を決める。原案の叩き台のところには書いていないので日付を追加した。まず、叩き台の内容として何か意見はあるか？なければこの方向で進める。</p> <p>講師は、松井委員（歯科医）と澤田委員（言語聴覚士）を予定し</p>

<p>阿久津委員</p>	<p>ている。お二人の都合上、26日で良いか？</p> <p>(全員了解)</p> <p>26日決定とする。</p> <p>今年度は、予算上ふらっと研修の回数が4回迄と決まった。3回でも構わない。合同意見交換会も1回行なう。ふらっととは別でVR研修が8月9日に行なわれる。</p> <p>入退院調整部会から研修を入れてほしいとの要望あり。</p> <p>市から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、入退院調整部会でルール決めをしている。案の状態で決定ではないが、そのルールが決まると、ただ配布しただけでは分からないので研修会を組む必要があると考えている。</p> <p>今回、入退院調整部会は休会となっているので、出来上がりは次回以降夏頃。研修会を組むのは秋以降になると思われる。</p> <p>入退院調整部会で、入退院用の調整シートを作っているが、盛り込み過ぎているという事で、これから項目を絞っていく作業に入る。これは時間がかかると思われる。</p> <p>患者情報共有部会も、手帳の作成、MCSの使い方の問題もでてくるので、どちらが優先されるかは分からないがこの研修もある可能性がある。今年度中の研修会に、2部会からの要望が出てくる。入れるか未定だが、頭においておかないといけない。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>入退院調整は最短で何月くらいにできるか？</p> <p>少しゴールを決めておかないと。</p>
<p>事務局</p>	<p>最終ゴールは30年度末。今年度の3月。</p>
<p>川島会長</p>	<p>なるべく早く、1回試しにやってみる。</p>

堀内委員	1回で決めない方が良い。
事務局	夏頃を目処にと入退院調整の方に伝える。
阿久津委員	今年度はふらっとを優先にするか？今年度の計画を今日立てたい。2部会の依頼については来年度という形で。
事務局	10月の研修会は無理だと思うので、10月を決めて、その他に出てくれば、ふらっとを優先できるのでどうか。
阿久津委員	<p>年度内の研修計画を立てる。</p> <p>第1回の摂食嚥下は7月26日。個人の意見だが、10月、1月、3月に、ふらっとの研修会を考えている。3カ月おきで、7月から始めてという事で入れたが、3月が厳しいのではないかと考えている。7月スタートだと10月と1月が精一杯ではないかと思う。研修会の内容として、もぐもぐ会では摂食嚥下はシリーズ化をしていかないと幅が広くて無理ではないかという事になった。各職種が連携してやっついていかないと介護の人に理解されにくいのではと4回から5回のシリーズ化の意見がでている。</p> <p>認知症は合同意見交換会という事で、この枠ではない枠で行なう。今年度10月、1月に摂食嚥下を行なうか、他のものを入れるか。10月迄は摂食嚥下を入れて良いと思うが、2部会のものが入ったら1月になるか。そのあたりを討議したい。</p> <p>6月に、入退院調整シートが出来上がったとして開催を入れたが、到底無理と思うので6月は無し。もぐもぐ会としては摂食嚥下を4回くらい行ないたい。他部会から2研修をやってもらいたいという希望があると、10月、1月をどうするか、3月を開催するかしないか、日にちと開催場所も考えていただきたい。</p> <p>場所は、やすらぎか。商工センターもあるが駐車場が厳しい。</p>
事務局	駐車場は市役所も使える。

阿久津委員	はい。みらいだと、やすらぎより部屋が小さい。その辺をふまえて考慮していただきたい。
島田委員	やすらぎで移乗研修を行なった。やすらぎより小さいと、規模にもよるが厳しい。松井委員も言っていたが、寝たり、水を飲むとなるとその準備も必要。
澤田委員	今回は起きてやるので広くなくても良い。
事務局	やすらぎだとどんな部屋か？グループで行うのか？
澤田委員	グループと聞いている。
事務局	最大90人。
澤田委員	90人も来ないと思う。
阿久津委員	キャパを教えてほしい。
事務局	やすらぎでグループワークだと最大90人。 商工センターのホールだと120人。
柴崎推進幹	予算要求の段階で4回と意見をいただいた。年間計画を決めるなら、その枠の中でどういった研修が必要で、どのくらいの規模でやるのかを詰めていけば必然的に場所の話になる。 先の話なので場所を押さえるのは融通がきく。
阿久津委員	分かりました。 今回は、やすらぎでよろしいか？
馬渡委員	歩くというのが…夜で女性もいる。

事務局	集まりやすいのは商工センター。 やすらぎは一番端なので遠い事業所だと行きにくい。
澤田委員	間に合わないという事もある。
事務局	商工センターは暗めではあるが、キャパ、立地共に良い。
澤田委員	移乗研修と違ってどのくらい来るか予測がつかない。 人数の把握をする為に商工センターでも良い。
阿久津委員	そういう意見がでていますがどうか？
澤田委員	移乗研修、もう少し来ると思った。
事務局	摂食嚥下に対して、どのくらい皆さんが課題を持っていて興味があるかないか。
馬渡委員	研修生にどのくらい対応できるか。
澤田委員	サブで入るという事ですよ。
馬渡委員	自分達が研修する上で、何人くらいをフォローできるか。
事務局	講師を呼ぶという事は謝金が発生する。 多人数を呼ぶと予算が苦しくなる。
澤田委員	今回は、体験もそんなに難しいものではない。R S S T等の体験などがメイン。後は飲み方で、グループで話し合う感じ。いつもより考える事が少ないという印象。こういう感じなのだという導入部分にあたる。歯科医師と言語聴覚士に声をかけているが、私達の人数が少ないのでどのくらい手伝えるか分からない。

馬渡委員	受講型がメイン。
澤田委員	今回は大勢でもなんとかかなると思う。次回のキャパを検討し、参考にしたらよい。募集の仕方はキャパによって先着何名と決める。
阿久津委員	商工センター開催。人数把握をそこですという形。 座った状態で、最大120名でよいか。
事務局	はい。グループワークで机を置いた状態で120名入る。
澤田委員	今回は机があると良い。記録をしないといけない。
阿久津委員	テーブルが入って120名？
事務局	はい。
阿久津委員	十分です。みらいだとどのくらいか？
事務局	みらいの学習室だと定員が90名。
澤田委員	やすらぎと変わらないのですね。
阿久津委員	パーティションは取れないのか？
事務局	はい。みらいの学習室は奥行きが狭いのであまり入らない。
阿久津委員	でも90名定員なのか？
事務局	座学で机並べてそのくらい。
阿久津委員	7月の嚙下研修会は商工センターのホールで。

事務局	明日予約をとるが、万が一入らないとしたらやすらぎになる。
阿久津委員	分かりました。
柴崎推進幹	第1学習室は100。
事務局	座学なので。グループワークだと、その3分の1。
阿久津委員	大体3分の1位になるのですね。
事務局	はい。
阿久津委員	市が管理している施設の勉強になった。 では、題目をどうするか。3月の研修部会を開催できるか。
澤田委員	入退院調整は、夏を目処に終らせる形なら1月か3月はそちらの ほうがいいのでは？
阿久津委員	3月？
澤田委員	3月だと決定時になってしまう。決定後の研修がいいのか、決定 前なのか微妙な段階ですが。
事務局	決まらなくなってしまう。
澤田委員	そしたら3月がいいのでは？3月には決定版が出る？
事務局	はい大体決定版がでている。
澤田委員	4月から運用する形？



阿久津委員	そうするか？
澤田委員	運用してからだと分からないという意味で研修したいのかなど。
事務局	3月枠を空けておく。
阿久津委員	予備にしておく。
澤田委員	入院調整から、準備はいらぬからやりたいと言われたら、ある程度の時間で提供できる。
阿久津委員	なるほど。 3月予備というか、他の作業部会の研修をそこにいれておく。 では、10月と1月ですね。
事務局	入退院調整の委員が来ているので発言をお願いする。
西川委員 (入退院調整部会)	在宅医療支援センターの加藤さんと話をしていたが、入院時に出す紙はケアマネージャーが書くというのが暗黙の了解。それに関しては直しが終る。直ぐに使えるような状況。こういう紙は今までもあるので、差し替えという形で済む。これに関してはケアマネ連絡会で説明すれば済むのでルール説明は要らない。
事務局	そんな事はないと思う。
西川委員 (入退院調整部会)	そうですか？
事務局	医療介護連携の中で全体が理解しているのと、一職種が理解しているのでは理解度が変わってくる。もちろん、ケアマネが主体かもしれないが、他の職種が理解していないとうまく運用はでき

	ない。他の職種にもこんなのあるというお知らせは必要。
西川委員 (入退院調整部会)	新しいものの方にシフトするのは、いつでもケアマネが書くのはいいと思う。退院の迄出来るのを待っていると、3病院と医師会と市を入れての話し合いが開かれないと修正も始められないという話だったので、待っていると入院時のものが遅くなる。厚生労働省から例がでたので、ケアマネはそれを目安に使ったほうが内容として良い。ケアマネ連絡会で作ったものよりきちんとしている。
事務局	もう少し早めに研修会をやった方が良いと？
阿久津委員	それとも3月にした方が良いか？
西川委員	そこまで延ばしてしまうと遅すぎるのではないか。
事務局	早くした方が良いということですね。
西川委員	3病院の会を作るという話がでている。いつ始まるのかにもよるが。3月に迄はならないと思うが。
阿久津委員	やってみて、使って改正もされていくので、本格的に始動するとしたら来年度になるかも。煮詰まって出来上がったところで3月にやるのが良いと思う。
事務局	早くやりますか？
阿久津委員	早くやるという手も。
事務局	他の委員の都合は？

阿久津委員	今年度の様式が厚生労働省から出て、診療報酬改定で出されている。私も早くやった方が良くという思いがあり、6月に無理に入れたが厳しいという事、シート自体も不安定だという話もあったので無しにした。先ほどの話の中では、何度か練習で使ってみて、改定し、煮詰まったところで書き方、使い方をやった方が良い。入退院の方で、やり方は変わっていくのではないかと思う。
事務局	摂食嚥下のシリーズ化もでていた。それと今の話を比べてどうか？
阿久津委員	どちらを優先したいか。
事務局	他に何か研修をやりたいものがあるか。
澤田委員	10月、入退院調整は難しいと思う。早くするとしたら1月か3月くらい。それなら摂食嚥下の方にも影響はしないと思うのでどちらでも良いと思う。運用が始まるなら研修会を開いた方が良い。始まらないのなら、3月でも良いのでは？
阿久津委員	運用したいですね。
事務局	まだ決められない。
阿久津委員	何も決められない。
澤田委員	1月、3月のどちらか予備で、次回で決定しては？ 結局26日を過ぎないと、どの程度のキャパがいいのか分からないので。
阿久津委員	他の委員はどうか？

鳥塚委員	7月26日に摂食嚥下と題目をして、集客と反応をみて、松井委員と澤田委員の受身の感じで、良ければ今度はグループで、誤嚥トラブル、困っている事などをやりますという事で、そこを次に10月にあてても。間が空くと熱が覚める。やってしまった方がよい。10月を摂食嚥下のパート2としたら良いのでは？
阿久津委員	他、皆さんどうか。
馬渡委員	賛成
阿久津委員	賛成でよろしいか？
堀内委員	もう1回やりたいということで、2回くらいか。
笠原委員	この次どんな事を学びたいかアンケートをとると良い。
澤田委員	7月でとってみようと思っている。色々なお話をいただいた会議では、介助方法について皆さんが一番困っていると思う。 10月は介助方法と思っている。
笠原委員	アンケートで、具体的に困っている事を書いてもらえば良い。
澤田委員	それをグループワークという形にしたら良い。 嚥下は人それぞれ。座学よりグループワークが良い。
阿久津委員	10月は摂食嚥下で座学とグループワークの実践系で良いか？
澤田委員	はい。
阿久津委員	もう一回あった方が良くらい。

澤田委員	介助方法を先延ばしにして、来てもしょうがないと思われるとちよつと。
阿久津委員	10月、1月、3月の月設定はこれで良いか？ <全員了解>
阿久津委員	では、1月、3月をどうするか？MCSに関しては、医師会がやることになっている。
事務局	医師会がどこでどんなふうに行っていくか。
阿久津委員	それは分からない。
事務局	医師会の方で何か話題が出ていないか？
堀内委員	具体的に出ていない。
阿久津委員	MCSについては医師会が責任をもってやるそうだ。
堀内委員	日程は理事会でてくると思う。バーチャルとあわせて。
事務局	他のもので何かあるか。
澤田委員	市でやる認知症はいつ？
事務局	まだ全然決まっていない。予定をみながら。
阿久津委員	月を決めてから空いているところに入れていく形になる。 11月が適切だと思う。12月では年末で厳しい。9月だと続いてしまう。

澤田委員	今回の内容は決まっているか？
事務局	症例を出してのグループワークがいいという動きがあったので、認知症に関してはそれをベースに制度的なものも入れながらグループワークを試してみようと思う。
阿久津委員	3月については、予備としてそこに他の部会を入れたらどうかと話がでている。
堀内委員	1月は入退院にするのではなく、まだ3回やるかもしれない。
阿久津委員	そうですね、摂食嚥下3回かもしれない。
澤田委員	3回は長くないですか？
事務局	もったいないですね。 介護制度とか知りたくないですか？介護保険の使い方とか。
鳥塚委員	西川委員がおっしゃった、ケアマネだけが全部ネットワークでやっている事は知っているが、実際どんなふうに書いてるか全く分からない。さわりの部分だけでも1月に教えていただけるとありがたい。 ケアマネが入退院情報シートを書いているのですよね？
小林(雅)委員	入院情報の作成をしている。厚生労働省から書式が変わるのがあるので、いつ移行してもいい様に。より細かくなっているのはどのケアマネも分かっている。
笠原委員	実際にこんなふうに使っていますというような研修会という事？
阿久津委員	医療界で足りないのは介護保険がどう動いているのかという事。

笠原委員	在宅がどうなっているかとか。
阿久津委員	どうサービスが結びついていくか実際分からない。
笠原委員	病院の中の人ですね。
阿久津委員	そうですね。
柴崎推進幹	医療関係者の方が、互いに知らない部分を研修で新たに発見し、認識していただければ良い。市として、元々の趣旨から考えるとありがたい。
阿久津委員	1月に入れるか？ひとりのケースを使ってどう介護保険サービスを使っていくか、そこに関わる人がどういう人かという一連の流れをやるか？
事務局	そこに入退院調整ルールも入れながらひとつの事例から退院のシミュレーションする。
笠原委員	活用例を入れて。
阿久津委員	知っているようで知らない事もあるだろうし。
笠原委員	他の県だとできている。マネしてみるとか。実際にやっている方はいないか？
小林(雅)委員	実際にやっているとは？
笠原委員	例えば循環器呼吸器センターとか。
小林(雅)委員	すでに普通にやっている。

笠原委員	この管内でもやっている？
小林(雅)委員	やっている。
阿久津委員	医療界の人、は自分のパーテーションしか分かっていない。介護の方、施設の方もそうかもしれない。そこを共有させる。どう動いているか分かっていない。
澤田委員	ケアマネが動いているが、皆は個別だから連携がとれているよう でうまくとれていないのが現状。嚥下の入退院を繰り返してしま うから嚥下の勉強会をやってほしいというのもおそらくそこ。病 院でみれば誤嚥無く生活できるが、施設や在宅に戻るとベッドや 椅子で環境が違うから、結局誤嚥してまた戻ってしまう。その繰 り返しがそもそもの元なのかなと。今回のこの話は良いと思う。
阿久津委員	1月に入れるか？デザインを今から考えて下さい。入院したとこ ろから始まって在宅に戻る、もしくは施設に行く、その分岐とか そこに携る職員、業種をデザインして研修の時に出す。夏過ぎに 作られたら良い。それぞれの職種が、今までここからここまでや っていた、私達はここからここまでやっていた、でも実際はそれ が在宅でここに有効ですなど、そうできると良い。 それでよろしいか？タイトルとしては医介連携ですか？タイトル を考えて下さい。
鳥塚委員	オーバーに言うと医介連携。「在宅に戻るには」サブタイトルみた いに。
笠原委員	退院調整の実際とか。
阿久津委員	医介連携ケース研修会、そんな感じで。タイトルを含めて考えて 下さい。



堀内委員	入退院部会でどれくらい時間がほしいか聞いておく必要がある。
阿久津委員	そうですね。摂食嚥下の原案2つ作ってあるので選んで欲しい。
馬渡委員	「明日からできる摂食嚥下」。
阿久津委員	それでいきましょう。 認知症は合同意見交換会でやるので、宿題を出していただいたものは市と共有していく。
鳥塚委員	7月26日の時間は？午後？
阿久津委員	時間どうか？
小林(雅)委員	その日が今の職種の更新研修。16時半まで浦和。終わったら向かう。
阿久津委員	18時半は？
島田委員	講師の先生のご都合は？
澤田委員	大丈夫です。夕方の方が、委員は手伝える。
鳥塚委員	松井委員以外の歯科医師の先生も何人か来ていただけるのか？
阿久津委員	はい。
鳥塚委員	木曜日なので休診。
阿久津委員	では18時半で。
事務局	確認させていただきます。今年度研修4回の中で摂食嚥下が2回と入

	退院調整が1回、介護保険の流れ医介連携関係の1回で3つのテーマを4回で行なう事によろしいか？
阿久津委員	はい。
事務局	研修4回で予算要求している。講師の費用を予算の範囲内でどうやっていくか。
澤田委員	摂食嚥下で材料代がかかってくるが？
事務局	予算要求でそこまで想定されてなかったの、予算をとっていない。額によっては流用も可能だが、どのくらいかかるのか出していただき、調整させていただきたい。
阿久津委員	謝金から材料費をとる事は可能か？
事務局	他の科目から持ってこられるか調べる。謝金を減らしていいのかというところもある。
阿久津委員	1回の研修については2名分？
事務局	そうですね。確か2万と1万5千円のそれぞれ。3万5千のかける4でとっていた。基本は予算内で。
澤田委員	材料費そのものをどこから持ってくるか。ベッドがあったほうがいいのか車椅子があったほうがいいのか。10月にやるなら10月に上がってきてしまう。問題点を考えると1月と10月が逆のほうがいいのか…。
阿久津委員	器具、ベッドが必要なら当医院を使っても良い。材料に関してもうちにある。ただ、持ち出しはまずいので費用分はどうかしな

	いと。
笠原委員	食べるものだったら、参加費200円とかとる場合もある。
阿久津医院	それは可能ですか？
事務局	研修参加費という事でとって、市から持ち出しがなければ問題ない。
澤田委員	おいしいものならいいが、そうでないものにお金をとるのはすごく気が引ける。
鳥塚委員	ペットボトルの水飲み体験という事で、例えば1人1本ずつ買って。
澤田委員	今回、とろみは使わないので水の料金だけなのでまだいい。 とろみを使うとなるとスティック状でないと。サンプルをもらえるならいいが。
小林(雅)委員	介護用具、福祉用具を扱っている業者に何社かでて頂ければ。
笠原委員	スポンサー的に。 大塚製薬とか現に使っている。
小林(雅)委員	ベッドが必要な研修は1台お願いしますと。
阿久津委員	研修会に業者を連れてくるのは市としてどうか？ 宣伝になりますか。
事務局	今直ぐにはお答えできない。調べます。

阿久津委員	<p>では調べた上で考えます。</p> <p>では時間が過ぎてしまいましたがこれで終わりにします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>[閉会]</p>
-------	---